

【 1 】 下記のA・B・Cの各文中の（ ） 1～25に適切な語句を下記の【語群】から選び、それぞれの文中の下線部 a～k についての設問に答えよ。

【知識・理解】

A 綱吉の死後、6代将軍（ 1 ）、7代将軍（ 2 ）のもとで、朱子学者の新井白石が、側用人の（ 3 ）とともに政権を担当し将軍綱吉時代に庶民からの不満が大きかった（ 4 ）を廃止し、（ 5 ）家を創設し幕府と朝廷の関係を円滑化した。また（ 6 ）の待遇を簡素化し、a 将軍への国書の宛名を改めさせた。財政政策では、元禄期の貨幣改鑄の責任者であった（ 7 ）を罷免し、元禄小判の品位を高めて（ 8 ）小判を鑄造させたが、再度の貨幣改鑄はかえって b 経済的混乱をまねいた。長崎貿易については、c 海舶互市新例を発し、貿易額を制限した。また、白石は、歴史論『（ 9 ）』や d 『西洋紀聞』を著し学問的業績をのこした。

a. 下線部 a の内容を次から選び、記号で答えよ。 【知識・理解】

- ①.日本国大君から日本国王へ ②.日本国大君から日本国将軍へ
③.日本国王から日本国将軍へ ④.日本国王から日本国大君へ

b. 下線部 b の内容を次から選び、記号で答えよ。 【思考・判断】

- ①.貨幣の流通量が増加し、インフレーションがおこった。
②.貨幣の流通量が減少し、デフレーションがおこった。
③.貨幣の流通量が増加し、デフレーションがおこった。
④.貨幣の流通量が減少し、インフレーションがおこった。

c. 下線部 c の内容を次から選び、記号で答えよ。 【知識・理解】

- ①.清船は年間2隻、銀高で3000貫に限る。
②.オランダ船は年間30隻、銀高で3000貫に限る。
③.清船は年間30隻、銀高で3000貫に限る。
④.オランダ船は年間2隻、銀高で3000貫に限る。

d. 下線部 d を著述する材料となった尋問を受けた人物を次から選び、記号で答えよ。【知識・理解】

- ①.ドイツ人医師ケンペル ②.イギリス人航海士ウィリアム＝アダムズ
③.イタリア人宣教師シドッチ ④.ロシア軍艦長ゴローニン

B （ 10 ）藩主徳川吉宗が8代将軍となり、幕政改革に着手した。「諸事権現様御定ノ通」を掲げて（ 11 ）の政治を理想としたが、改革は財政緊縮が中心で、緊急措置として e 上げ米を命じ、旗本・御家人に対しては f 足高の制をさだめた。年貢増徴については、役人の不正を防止するため g 徴税方法をかえ、h 新田開発を奨励した。江戸の都市政策では（ 12 ）を町奉行に登用し、防火体制を強化して（ 13 ）を組織させた。また評定所前に（ 14 ）を設けて庶民の投書を受けつけた。さらに、（ 15 ）を編纂して裁判や刑罰の基準をさだめ、続発する金銀貸借訴訟は受理せず、当事者間で解決させる（ 16 ）を出した。この結果、幕府の年貢収納高は最高水準に達したが、西日本を中心とした飢饉と米価の変動は、農村に打撃をあたえ、各地で一揆がおこり、江戸でも（ 17 ）が発生した。

e. 上げ米の史料について設問に答えよ。 【資料活用の技能】

御旗本に召置かれ候御家人、御代々段々相増候。…今年ニ至りて御切米等も相渡し難く、御仕置筋の御用も御手支の事に候。… **I** 万石以上の面々より **II** 差し上げ候様ニ仰せ付けらるべしと思召し、…高 **IIIa** 石ニ付 **II** **IIIb** 石積り差し上げらるべく候。

- 1). **I** 万石以上の面々とはどのような人を指しているのか、記せ。
- 2). **II** に適切な語を記せ。
- 3). **IIIa** **IIIb** にあてはまる数字を記せ。
- 4). この制度の実施中、緩和された制度は何か、記せ。

f. 足高の制の説明として正しいものを次から選び、記号で答えよ。 【知識・理解】

- ①. 昇進した際に加増する基準を、幕府成立時の低い加増率にもどす。
- ②. 役職の石高の基準を定め、その禄高以下の旗本が就任するときは、在職中のみ不足分を補う。
- ③. 昇進した際に加増する基準を低めに設定して、不足する旗本には在職中のみ不足分を補う。
- ④. 役職による石高の基準をさだめ、その基準に見合う旗本から優先的に採用する。

g. 徴税方法をどう転換したのか、記せ。 【思考・判断】

h. 町人資本によって開発された新田を何というか、記せ。 【知識・理解】

C 10代将軍（18）のもとで権力をにぎったのが、将軍の（19）から老中に就任した田沼意次である。田沼は商業資本を掌握し、物価を引下げるため都市や農村の商人・手工業者を（20）として広く公認し、（21）などの税を課した。さらに **i** 幕府直営の座を設けた。通貨制度では下の **j** 図の貨幣を鑄造し、（22）中心の貨幣制度への一本化を試みた。さらに大商人からの資金を積極的に活用し、下総の（23）の新田開発に取り組み、**k** 蝦夷地やロシアとの交易の可能性を考えていた。田沼時代は、商品経済に対応した合理的で現実的な政策が試みられたが、賄賂政治の批判が高まり、

（24）の大噴火などの災害と（25）の飢饉が重なり、全国各地で一揆が頻発するなか、田沼は失脚した。

i. 幕府直営の座が扱ったものを、1つ記せ。 【知識・理解】

j. 1). 図の貨幣を何というか。 【知識・理解】

2). 貨幣の表面には何と記されているか、内容を記せ。 【資料活用の技能】

k. この要因となった書物名と作者を答えよ。 【知識・理解】



【語群】

ア. 尾張	イ. 定火消	ウ. 間部詮房	エ. 閑院宮	オ. 元禄
カ. 紀伊	キ. 霞ヶ浦	ク. 青木昆陽	ケ. 有栖川宮	コ. 天保
サ. 儉約令	シ. 側用人	ス. 徳川家光	セ. 朝鮮通信使	ソ. 正徳
タ. 株仲間	チ. 町火消	ツ. 徳川家斉	テ. 謝恩使	ト. 天明
ナ. 大日本史	ニ. 公事方御定書	ヌ. 徳川家宣	ネ. 専売制	ノ. 享保
ハ. 生類憐みの令	ヒ. 田中丘隅	フ. 徳川家治	ヘ. 消費税	ホ. 目安箱
マ. 見沼新田	ミ. 萩原重秀	ム. 徳川家継	メ. 運上金	モ. 座
ヤ. 相对済し令	キ. 浅間山	ユ. 徳川家康	ヨ. 読史余論	ラ. 徳政令
リ. 大岡忠相	ル. 打ちこわし	レ. 金	ロ. 富士山	ワ. 印旛沼
ヲ. 百姓一揆	ン. 銀			

【解答】

1. ヌ 2. ム 3. ウ 4. ハ 5. エ 6. セ 7. ミ 8. ソ 9. ヨ 10. カ
 11. ュ 12. リ 13. チ 14. ホ 15. ニ 16. ヤ 17. ル 18. フ 19. シ 20. タ
 21. ヘ 22. レ 23. ワ 24. 幟 25. ト

(各1点×25)

a. ① (1点)

b. ② (1点)

c. ④ (2点)

d. ② (1点)

e. 1). 大名 2). 八木(米) 3). ③a 壹万(一万)・③b 百 4). 参勤交代 (各1点×4)

f. ② (1点)

g. 検見法から定免法へ転換した。 (2点)

h. 町人請負新田 (2点)

i. 銅座、真鍮座、朝鮮人参座など (2点)

j. 1) 南鐐二朱銀 2) (南鐐) 八片を以って小判一兩と交換する。 (1)2点 2)3点)

k. 『赤蝦夷風説考』 工藤平助 (各2点×2)

計 50 点